

オオバナミズキンバイ等の状況について

1. 平成26年度の事業・活動の状況

(1) 主な駆除事業・活動

1) 侵略的外来水生植物徹底駆除事業(琵琶湖外来水生植物対策協議会)

事業費 63,903 千円: 県費 52,903 千円、国交付金 11,000 千円

建設機械、水草刈取り船による機械駆除と人力等を併用した方法で実施。

2) 外来生物防除対策事業(県単独事業)

事業費 2,518 千円

保全団体等への用具の貸出し等による駆除活動への支援のほか、建設機械を活用した試験駆除と地域住民等への普及啓発を実施。

3) 特定外来生物防除等推進事業(国直轄事業)

事業費 16,500 千円

大津市雄琴港内等において水草刈取り船と人力等を併用した方法で実施。

4) NPO 等による主な活動

・「オオバナミズキンバイ除去大作戦プロジェクト」(6月29日、12月21日)

参加団体・・・認定NPO法人びわこ豊穰の郷、赤野井湾再生プロジェクト、玉津小津漁協、国際ボランティア学生協会、地元自治会等

・「琵琶湖外来水生植物除去大作戦」(9月15日～17日)

国際ボランティア学生協会主催、全国から約600人の学生が参加

(2) オオバナミズキンバイの生育面積の変化

		生育面積(概数)	
「生態解明事業」により明らかとなった最大生育面積		157,000 m ²	
「侵略的外来水生植物徹底駆除事業」により除去された生育面積		94,000 m ²	} 111,000 m ²
国・NPO 等による駆除等により減少した生育面積		17,000 m ²	
年度末に残存した生育面積		46,000 m ²	

2. 駆除済み区域の今年度の状況

・昨年度駆除した結果、巡回・監視を継続することにより再生を抑え込んでいる区域(図1)が確保できている一方で、想定を超える規模で群落が再生している区域(図2)もある。

図1. 再生を抑えている駆除済み区域(守山市赤野井町小津袋)。



図2. 大規模な再生が見られる駆除済み区域(草津市矢橋中間水路、丸印は同一のヨシの株)。



<原因>

- ・石組みの人工護岸等に群落が生育する場所では、再生が少なくかつ小規模で、巡回・監視により再生が抑えられている(木浜内湖、赤野井町小津袋等)。
- ・岸沿いにヨシ等の他の植物が生育する場所では、機械駆除で十分に取り除けなかったため、想定を超える規模で群落が再生している(津田江内湖、矢橋中間水路等)。

3. 北湖における状況

(1) オオバナミズキンバイの新たな確認

- ・北湖周辺の4地点(図3)で新たに確認し、順次、対応している。

地 点	確認	群落規模	対応状況
饗庭湖岸 ／高島市新旭町	H27/ 8月※	約 15 m ²	駆除体制検討中
伊庭内湖 ／東近江市	H27/ 7月	約 25 m ²	駆除実施(H27/7/23) 監視中
神上沼 ／彦根市	H27/ 8月	約 15 m ²	駆除実施(H27/9/2) 監視中
蓮池 ／米原市	H27/ 8月	約 70 m ²	駆除実施予定 (H27/10/9)

※京大大学院研究者により平成26年12月に確認、その後消失していたが、平成27年8月に再確認された。



図3. 北湖周辺におけるオオバナミズキンバイ(★)とナガエツルノゲイトウ(▽)の分布拡大の状況。

(2) ナガエツルノゲイトウの分布域の拡大

- ・北湖西岸・東岸とも、分布域が拡大している。

	新たな確認地点	生育規模	対応状況
西岸	高島市新旭町藁園・針江・饗庭(湖岸)	小規模群落のみ	駆除体制検討中
東岸	米原市蓮池(内湖)、長浜市豊公園・南浜(湖岸)	蓮池: 約 1,360 m ² 、他は小規模群落	駆除体制検討中

4. 平成27年度の取組

(1) 生態解明事業(琵琶湖外来水生植物対策協議会)

北湖にも対象範囲を拡大し、生育状況を調査(9月～12月)。

(2) 侵略的外来水生植物戦略的駆除事業(琵琶湖外来水生植物対策協議会)

- ① 南湖西岸を対象に、主として水草刈取り船とジェットポンプを併用した駆除(5月～10月)。
- ② 南湖東岸を対象に、主として建設機械による駆除(5月～10月)。
- ③ 再生の著しい群落の機械駆除を実施し、取り残しを最小限にする手法を検討(11月～2月)。

(3) 外来生物防除対策事業(県単独事業)

北湖周辺のナガエツルノゲイトウの大規模生育地域(伊庭内湖、神上沼等)を対象に、機械駆除を導入した対策事業を実施することにより、市等への駆除方法の普及啓発(10月～)。

(4) 特定外来生物防除等推進事業(国直轄事業)

大津市雄琴港内において、水草刈取り船と人力等を併用した方法で実施。

(5) NPO等による主な活動

- ・「オオバナミズキンバイ除去大作戦プロジェクト」(6月28日、9月12日)
- ・「琵琶湖外来水生植物除去大作戦」(9月11日～13日) 全国から約400人の学生が参加

(6) 琵琶湖外来水生植物対策協議会の運営

北湖に面した未加入の4市(彦根市、米原市、長浜市、高島市)への参加を強く呼びかけている。